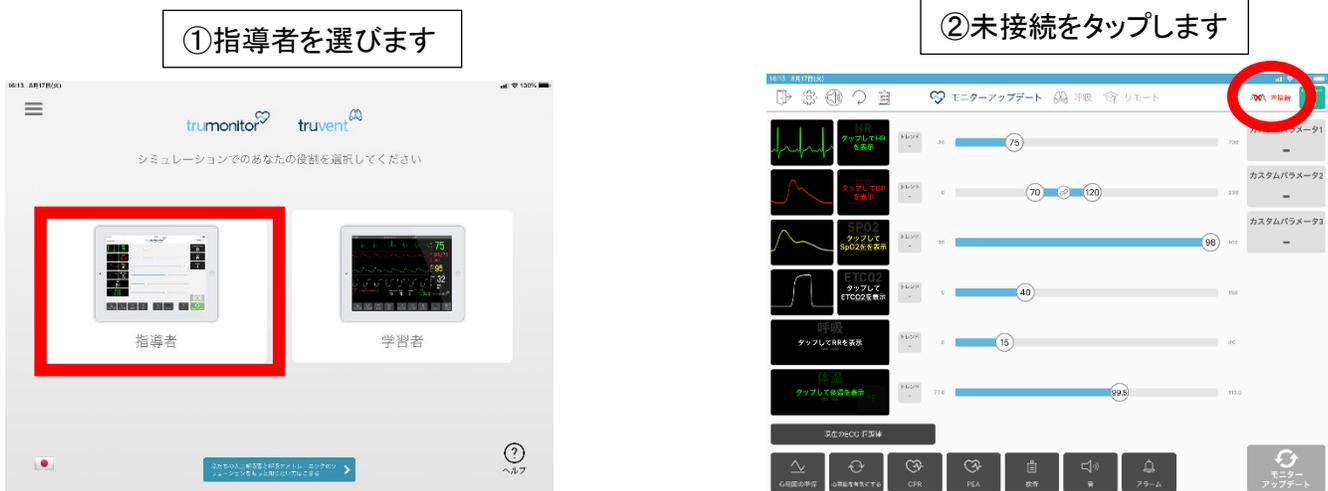


TruVent 取扱説明書(指導者用)

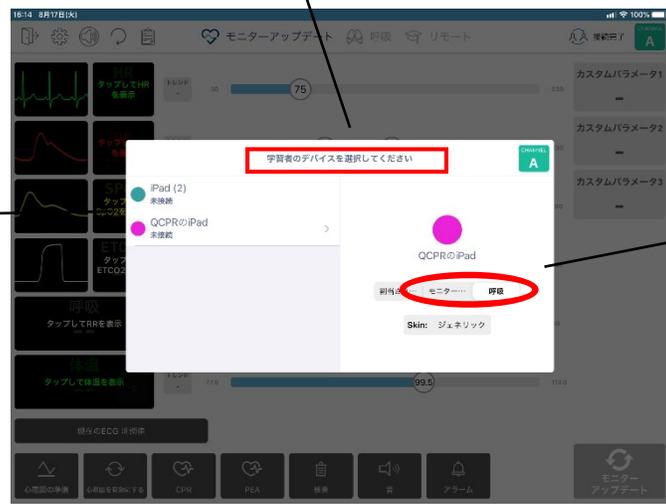
1. TruMonitor-TruVent のアプリを立ち上げます。
 学習者のアプリとの接続方法は2つあります(※Wi-Fi 接続が必要)。
 (①指導者と学習者がアカウントを持っている、②持っていないケース)

①学習者がアカウントをもっているケース



学習者が学習者のアプリから「学習者」を選ぶと、「学習者のデバイスを選択してください」と表示されます。

③学習者が登録した名前が表示されるのでタップします。



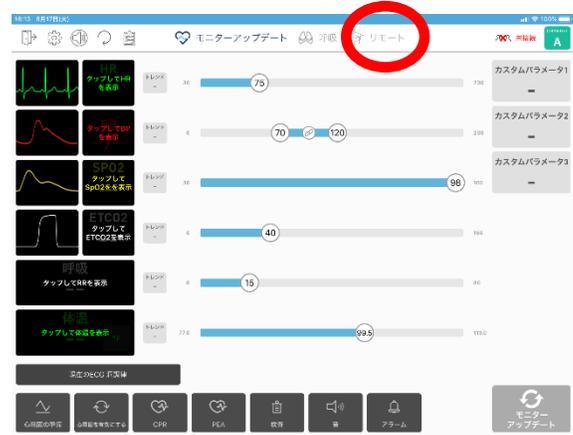
④人工呼吸器を学習するときには「呼吸」、心電図等を学習させる場合は「モニター」を割り当てます。

②学習者がアカウントをもっていないケース(リモートセッション ID を使用)

①指導者を選びます



②リモートをタップします



③セッションコードが作成されるので、この番号を学習者に伝えます。



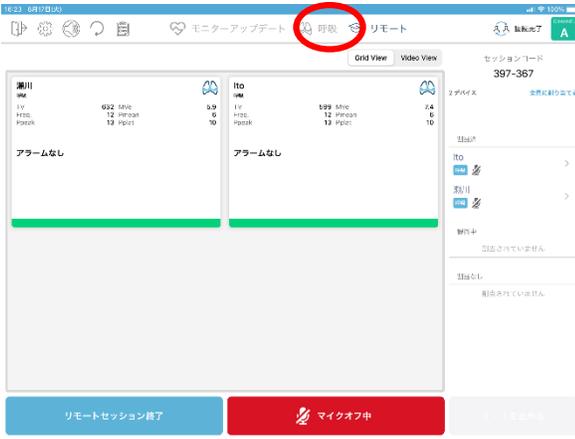
④学習者がセッションコードを入力すると、参加した学習者の名前が表示されます。

人工呼吸器を学習するときは「人工呼吸器を割当」、心電図等を学習させる場合は「患者モニタを割当」をタップします。



⑤学習者を割り当てた後、「呼吸」をタップすると呼吸状態を設定する画面に変わります。

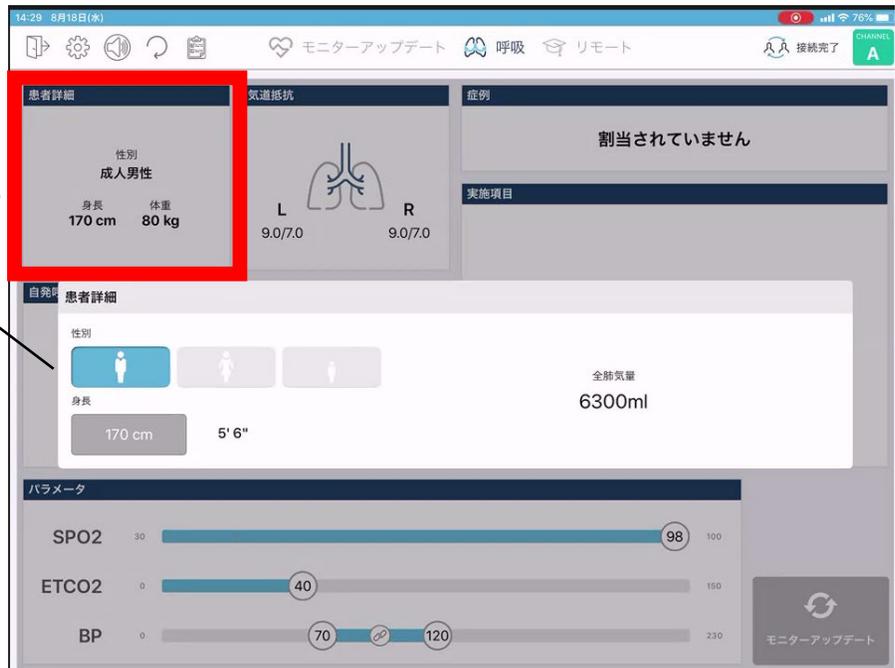
呼吸状態を設定する画面



2. 人工呼吸器学習の進め方

①患者設定

①患者詳細をタップすると、患者詳細画面が現れます。成人は性別と身長、小児は体重を設定します。



②気道抵抗の設定

②気道抵抗をタップすると、気道抵抗を設定する画面が現れます。

左右の吸気と呼気の抵抗を設定できます。

ロックを外すと、左右独立させて設定を変更できます。



モニターアップデートをタップすると学習者画面に反映されます。

③肺コンプライアンス



③肺コンプライアンスをタップすると、肺コンプライアンスを設定する画面が現れます。

肺コンプライアンス

正常、ARDS、COPD、肺線維症のプリセットから選べますが、症例によっては重症度が選べません。カスタムから肺コンプライアンスを作成し保存することも可能です。



④ 自発呼吸



④ 自発呼吸をタップすると、自発呼吸を設定する画面が現れます。

自発呼吸設定

呼吸数、吸気努力、吸気時間、呼吸数や自発呼吸の変動を設定できます。また筋弛緩/無呼吸をタップすると無呼吸になります。



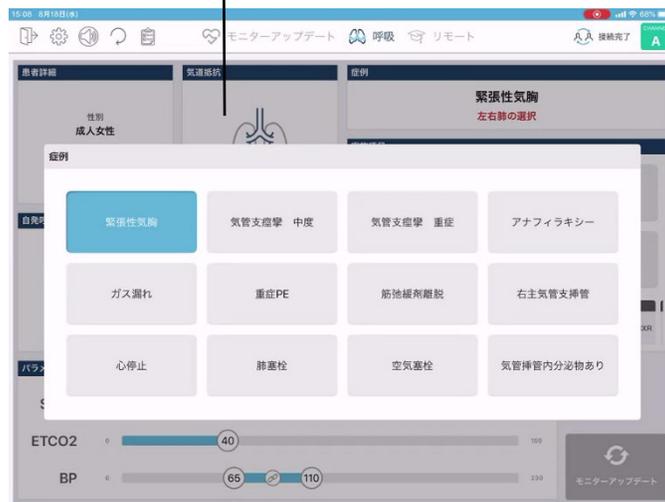
⑤ 症例



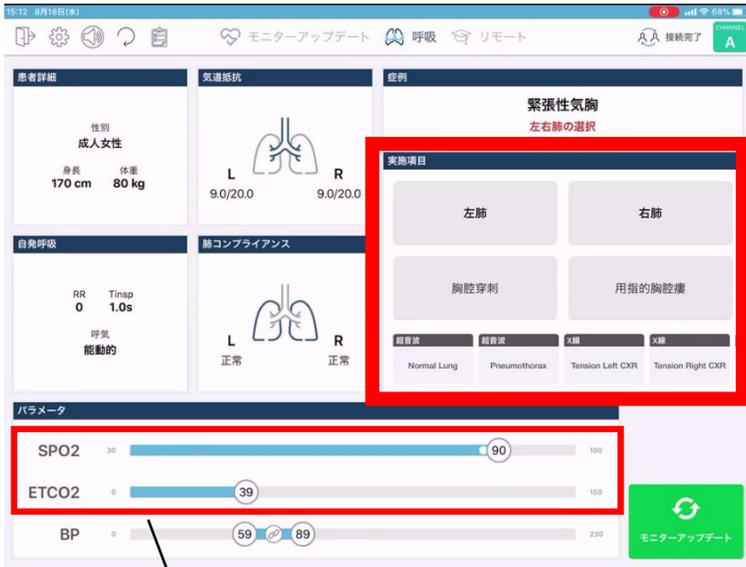
⑤ 症例をタップすると、プログラムされた症例を設定する画面が現れます。

症例選択

緊張性気胸、気管支痙攣、アナフィラキシー、ガス漏れ、重症 PE、筋弛緩剤離脱、右主気管支挿管、心停止、肺塞栓、空気塞栓、気管挿管内分泌物ありを選択できます。



⑤症例:実施項目



患者詳細

性別 成人女性
身長 170 cm 体重 80 kg

気道抵抗
L 9.0/20.0 R 9.0/20.0

症例
緊張性気胸
左右肺の選択

実施項目

左肺 右肺

胸腔穿刺 用指的胸腔瘻

自発呼吸
RR 0 Tinsp 1.0s
呼吸 能動的

肺コンプライアンス
L 正常 R 正常

パラメータ

SPO2 30 90 100

ETCO2 0 39 100

BP 0 59 89 230

モニターアップデート

実施項目

症例により、項目内容は違います。また超音波やX線、12誘導心電図ボタンが合われますので、タップをすると学習者画面に超音波等の画像が現れます。

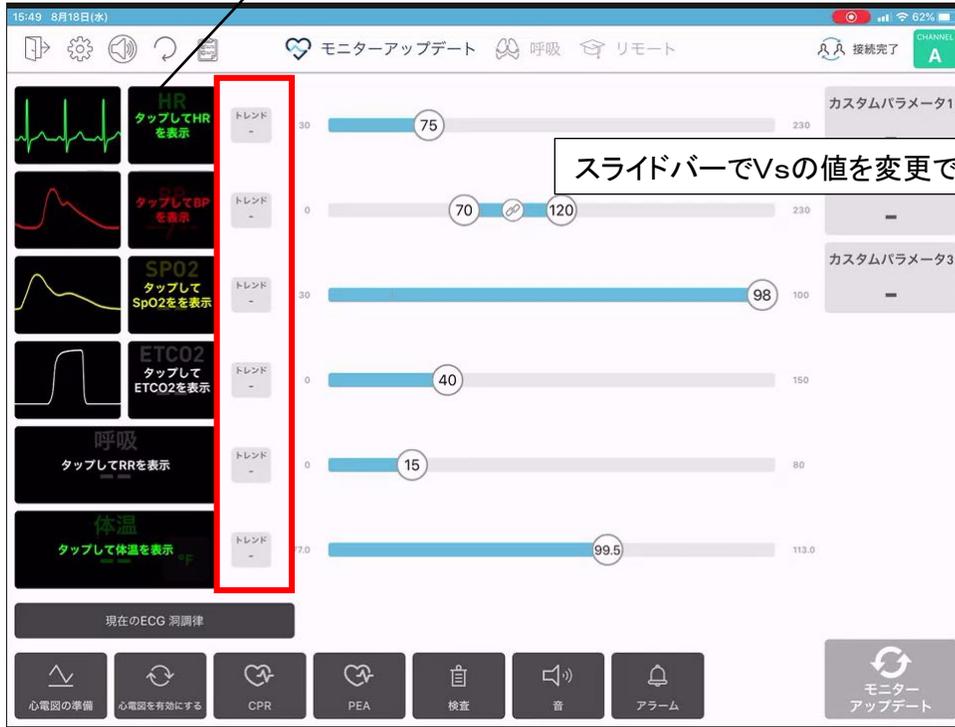
学習者画面に SpO2、ETCO2 の値が表示されていますので、値を変更することで、患者の状態がわかりやすくなります。

3. 患者モニタを使用しての学習の進め方

心電図、動脈圧波形、SpO2 波形、ETCO2 波形を学習者画面に表示させることができるので、学習目的に応じて波形や値を変更してください。

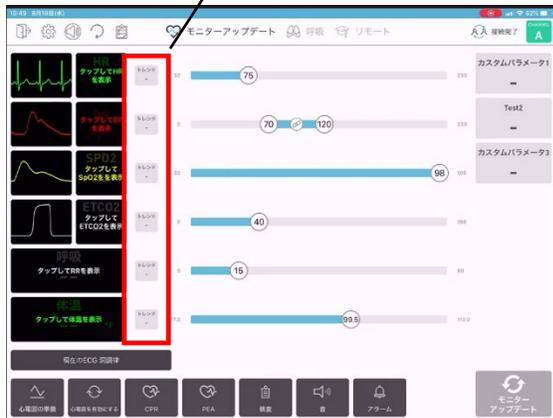
「タップしてHRを表示」をタップすると、学習者画面に波形が表示されます。血圧、SpO2 等も同様です。

タップし
波形を変
更しま
す。



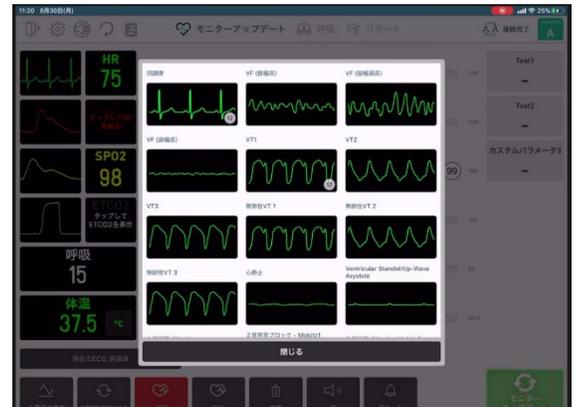
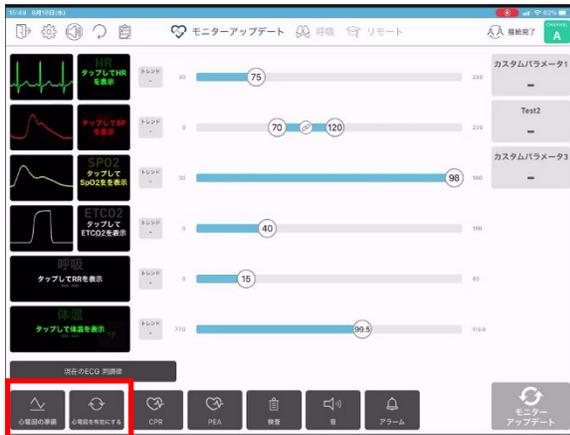
スライダーでVsの値を変更できます。

「トレンド」をタップすると右下のようにパラメーターが変更するまでの時間を設定
できます。例)HRのスライダーより値を変更し「トレンド」より時間を決め左下の
「モニターアップデート」をタップするとHRが時間に合わせて徐々に変動します。



モニターアップデート

心電図変更



「心電図の準備」をタップすると右のように波形を選ぶことができ、「心電図を有効にする」をタップすると、学習者のモニタの波形が変更されます。

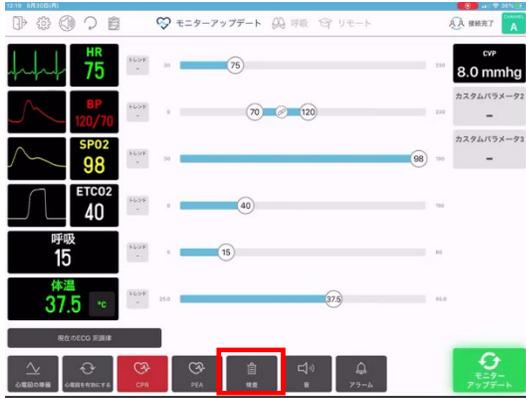
胸骨圧迫波形変更



「CPA」をタップすると上記が表示され、学習者のモニタ画面の胸骨圧迫波形を変更できます。例)「速すぎ」をタップすると、胸骨圧迫波形が 140 回/分で表示されます。

検査データ

タップすると緑色になり、送信可能になります。



スライダーで検査データの値を変更できます。

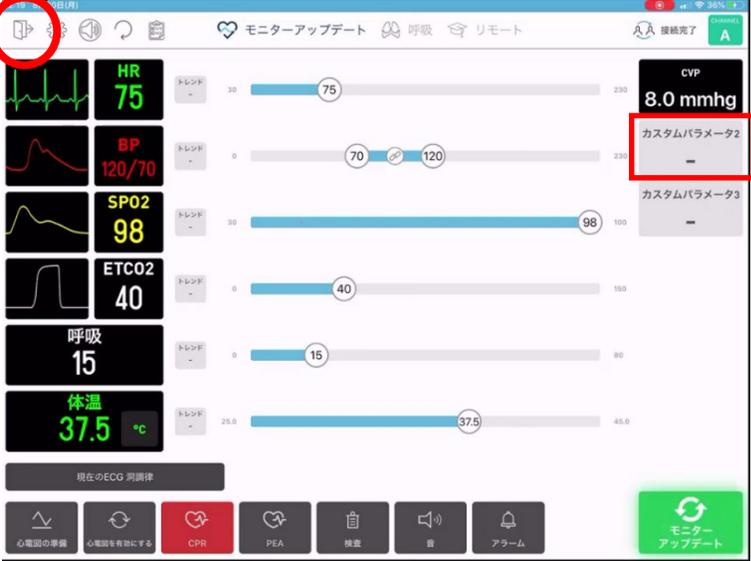
「検査」をタップすると検査データや X 線を学習者の患者モニタ画面に表示できます。スライダーで検査値を変更します。「送信と表示」をタップすると、患者モニタ画面に表示されます。

音



「音」をタップすると以下の音を学習者の患者モニタから聞こえます。例)「Wheeze」をタップすると、学習者のモニタ画面から喘鳴音が聞こえます。

終了ボタン

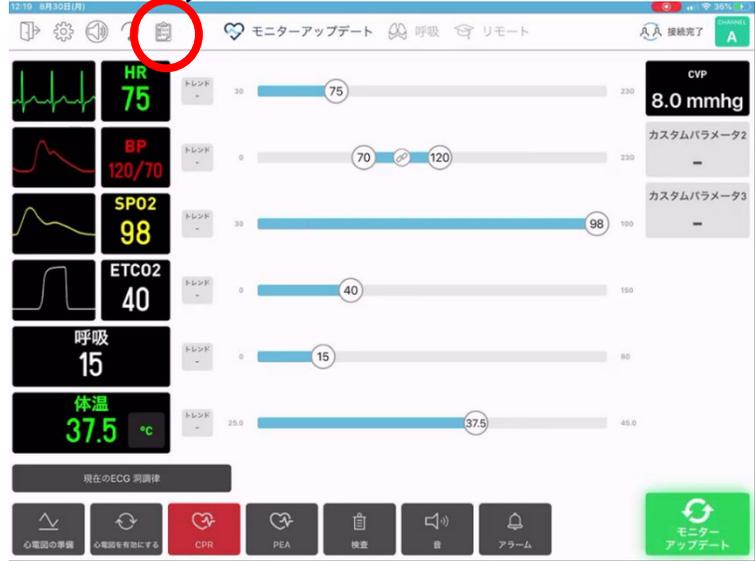


カスタムパラメーターは自由に表示させたい値を作成できます。例)CVP

シナリオ作成方法

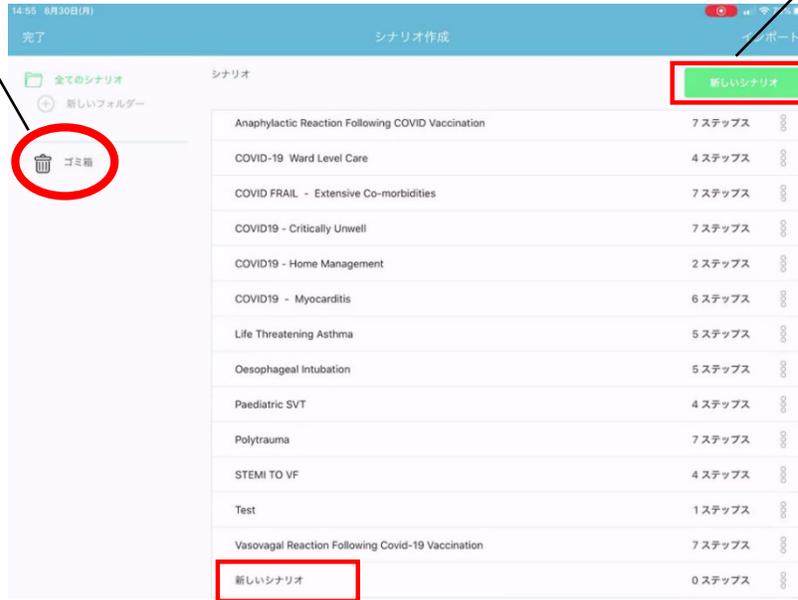
初期のバイタルサインを設定し、例えば2分後に急変し心電図や血圧値を自動で変更できるように、あらかじめ設定をすることができます。

ここをタップします



不要になったシナリオを、ゴミ箱にスライドすると削除されます。

新しくシナリオを作成するときにタップします。

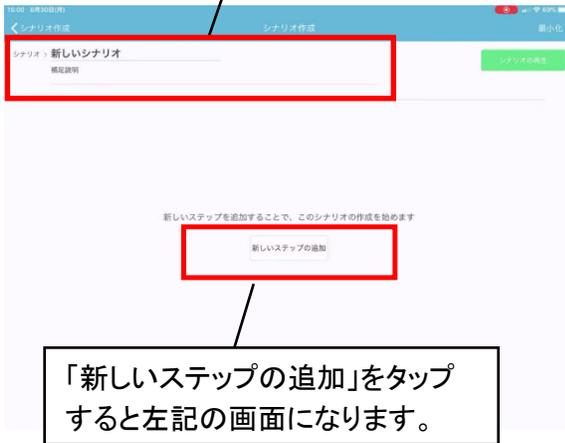


作成したシナリオ

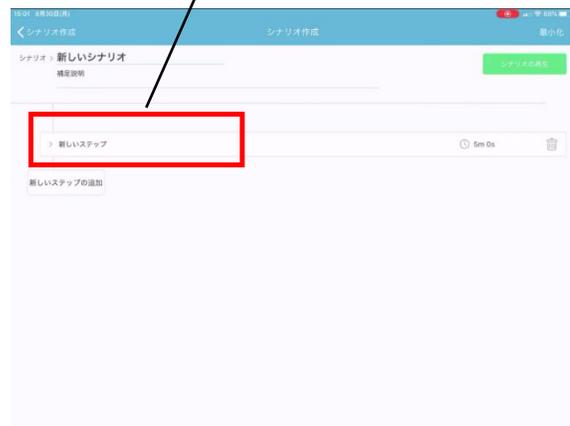
右上の「新しくシナリオ」をタップすると表示されます。ここをタップすると以下のシナリオ作成画面になります。

シナリオのタイトルと補足説明(必要時)入力します。

新しいステップをタップし時間設定と心電図や Vs、検査等入力していきます。



「新しいステップの追加」をタップすると左記の画面になります。



時間設定すると、その時間だけその Vs で進んでいきます。

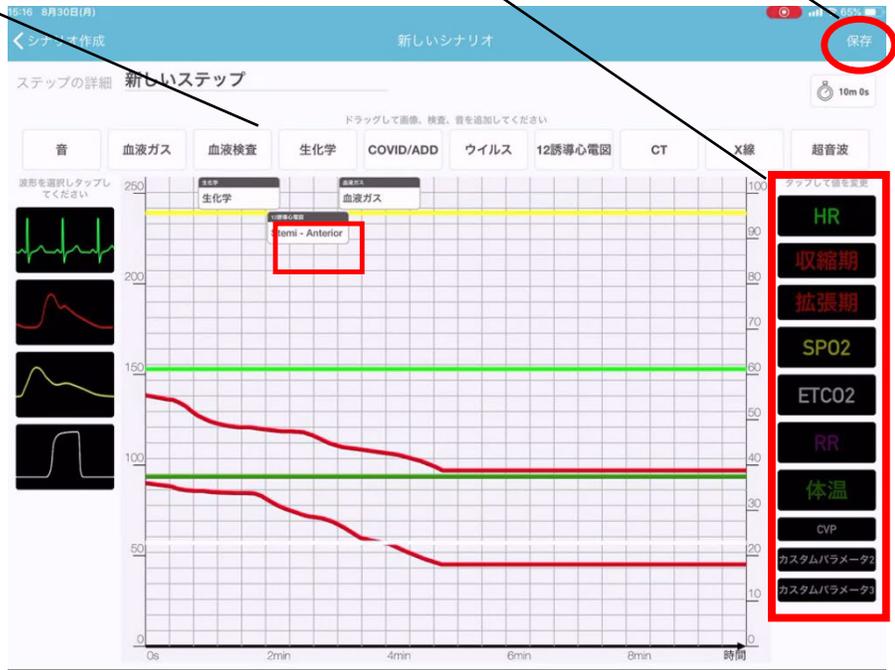


例) 生化学をタップしてグラフにドラッグすると、生化学の値が変更でき、その時間になったら、学習者画面に検査値が表示されます。

例) HR をタップしてグラフに指でなぞると値が設定されます。

保存をタップすると、新しいステップを作成する画面に移ります。

心電図や動脈圧の波形を変更できます。



ご不明な点はヘルプデスクにお問い合わせください
ヘルプデスク: 0120-309-060 (2 番)